

山形大学校友会理事会（第17回）議事録

平成27年2月13日（金）

14時00分～14時50分

山形大学事務局第2会議室

（議題）

- 1 平成26年度事業の進捗状況について
 - (1) 実施事業の進捗状況について
 - (2) 収支決算見込みについて
- 2 平成27年度事業について
 - (1) 予算概要（イメージ）について
 - (2) 「継続事業」について
 - (3) 校友会事業計画書の申請様式について
- 3 校友会事業による大学院学生表彰者の決定について
- 4 その他
 - (1) 各学部同窓会と山形大学校友会との情報交換会の開催について
 - (2) 校友会メールマガジン「みどり樹通信」の発行について
 - (3) 「卒業生の人財バンク登録事業」の活用について
 - (4) 「山形大学卒業生等首都圏ネットワーク」について
 - (5) 校友会設立10周年記念事業に向けた「企画検討ワーキング」の設置について
 - (6) 平成26年度山形大学OB & OGセミナーの開催について
 - (7) その他

（出席者）

- 会 長： 小山清人（議長）
副会長： 酒井順一、神戸士郎
理 事： 丹 政樹、丹野憲昭、会田輝昭、上村勘二、長沼龍平、佐藤和佳子、
山崎洋一郎、齋藤博行、大場好弘、國方敬司、栗山恭直、竹田隆一、
角田憲一、石井 滋、岩城功希
監 事： 丸山俊明、寒河江良三

（欠席者）

- 理 事： 小池信明、栗野久造、佐藤和弘、加藤丈夫、山川光徳

（列席者）

- 小関エンrollment・マネジメント部長、鈴木 EM 企画課長、
大沼校友会事務局長、山口校友会事務局次長、渡部係員

議事に先立ち、小山会長から挨拶があり、本理事会への出欠状況について紹介があった。

1 平成26年度事業の進捗状況について

- (1) 実施事業の進捗状況について
- (2) 収支決算見込みについて

議長から本件について提案があり、事務局から、「平成26年度実施事業進捗状況一覧」、「平成26年度収支決算見込み」について資料1及び資料2に基づき概ね次のような説明があった。

(内容)

- (1) 本件は、1月30日(金)開催の校友会専門委員会(以下「専門委員会」という。)において資料1及び資料2に基づき報告し、了承されたものである。
- (2) 資料1は各事業の進捗状況を事務的に整理したものであり、現時点において終了した事業は9件(黄色で表示)、その他16件は事業継続中である。
なお、現時点での各事業の実施状況は、席上の回覧資料でも確認できる。
- (3) 平成26年度は継続15及び新規10の計25事業で、予備費を含め事業費総額は23,170千円となっている。
- (4) 平成26年度の収支決算見込みは資料2のとおりであるが、収入は、一般の新規加入者が予想より少なかったため全体で27万円程の減、支出のうち事業費は、今後の支出見込みを踏まえ20,714千円程の決算が見込まれる。
- (5) 平成26年度事業報告及び収支決算は、会計監査を行った上で、例年6月に開催する次回の校友会理事会(以下「理事会」という。)において審議される。

事務局からの説明後、若干の質疑応答があり、議長から本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

2 平成27年度事業について

- (1) 予算概要(イメージ)について
- (2) 「継続事業」について
- (3) 校友会事業計画書の申請様式について

議長から本件について提案があり、事務局から、「平成27年度予算概要(イメージ)」、「平成27年度校友会継続事業について(案)」、「平成26年度校友会継続事業」、「平成27年度山形大学校友会事業計画書の申請様式」について資料3、資料4-1、資料4-2、及び資料5に基づき概ね次のような説明があった。

(内容)

- (1) 本件は、1月30日(金)開催の専門委員会において資料3、資料4-1、資料4-2、及び資料5に基づき報告し、了承されたものである。
- (2) 平成26年度決算見込みを踏まえ、平成27年度予算概要は資料3のとおりと考えている。事業費として本年度の決算見込額と同程度20,000千円を確保するとした場合、平成28年度への繰越し額は800万円程度となる見込みである。
- (3) 平成27年度継続事業の取り扱いを検討するに当たり、専門委員会では資料4-1のとおり現状と課題を整理した。
- (4) 平成26年度継続事業は、昨年2月14日開催の理事会において資料4-2のとおり15件が認められていた。
- (5) 平成26年度の各事業を総合的に評価し、必要があれば平成27年度も「継続事業」としての優先性を認め、専門委員会及び理事会において申請額を査定することとした。
- (6) 平成28年度以降の「継続事業」の取り扱いや評価のシステム等については、引き続き検討を行うこととした。
- (7) 平成27年度に優先性を認める継続事業は、本理事会において決定願う。
- (8) 「平成27年度山形大学校友会事業計画書」の申請様式は資料5のとおりとし、平成27年3月31日(火)を提出期限とする。

次いで、酒井専門委員会委員長から、継続事業に関する専門委員会の審議経過について説明があった。

種々審議の結果、議長から本件について諮られた結果、原案どおり承認され、「継続事業」の取り扱いについては次のとおり確認された。

- (a) 本年度の事業のうち、次年度も継続の意向が示されている各事業については、平成 27 年度事業計画書及びこれまでの実績について次回の専門委員会及び理事会において点検評価の上、「継続事業」として申請額を査定する。
- (b) ただし、これまでの事業内容等から総合的に判断し、以下のとおり 20 事業については平成 27 年度の継続事業としての優先性を認めるが、2 事業については継続事業としての優先性を認めないものとする。
- (c) なお、平成 28 年度以降の「継続事業」の取り扱いや評価システム等については、引き続き検討を行う。

◆平成 27 年度継続事業としての優先性を認める 20 事業

(修学関係)

- 1 大学間交流協定大学への短期派遣留学生校友会支援事業 (3年目)
- 2 学術交流協定校への超短期学生派遣プログラム (3年目)
- 3 グローバル化に向けた授業への修学支援 (3年目)
- 4 博士課程学生への研究発表奨励事業 (3年目)
- 5 校友会推薦図書コーナー「後輩に是非、こんな本を読ませたい！」(2年目)
- 6 実践教育プログラム合宿型交流ワークショップ (2年目)
- 7 山形大学実践教育プログラム 長期インターンシップの実施等 (2年目)
- 8 山形大学校友会大学院学生表彰制度 (2年目)

(課外活動関係)

- 9 ビーチサッカー大会 in 庄内 (4年目)
- 10 各キャンパス大学祭への支援 (3年目)
- 11 公認サークルへの支援 (3年目)
- 12 山形大学雪合戦大会 (2年目)
- 13 高齢化率の高い離島における継続した東日本大震災復興支援事業 (2年目)

(就職関係)

- 14 「業界セミナー」並びに「OB・OG フォーラム」支援 (5年目)
- 15 首都圏開催合同企業説明会への参加と東京サテライト案内 (4年目)

(保護者、本学運営、同窓会等関係)

- 16 卒業生等による学生支援体制の整備 (4年目)
- 17 新入生保護者の皆様と山形大学との交流会 (3年目)
- 18 山形大学卒業生講演会 (3年目)
- 19 オペラを核とした《附属校との協働》及び《高大連携事業》の推進 (2年目)
- 20 山形大学東京サテライト 卒業・修了制作展 (2年目)

◆平成 27 年度継続事業としての優先性を認めない 2 事業

- グローバル化に対応するための修学支援 (3年目)
- 大学歌の普及活動支援 (2年目)

3 校友会事業による大学院学生表彰者の決定について

議長から本件について報告願いたい旨発言があり、事務局から、今年度新たに創設した大学院学生表彰制度について、資料 6-1、資料 6-2 及び資料 6-3 に基づき概ね次のような説明があった。

(内容)

- (1) 「大学院学生表彰に関する申し合わせ(資料 6-2)」に基づき、大学院学生表彰者は専門委員会において決定する規定になっている。
- (2) 資料 6-1 は、平成 26 年度大学院学生表彰決定者 11 名の一覧表である。
- (3) 推薦のあった大学院学生 11 名は表彰基準のいずれかに該当すると判断し、専門委員会として 11 名全員を被表彰者と決定した。
- (4) 表彰者には、「山形大学校友会会長賞」として表彰状(資料 6-3)と奨励記念品(金 5 万円)を贈呈する。
- (5) なお、表彰式は、理事会終了後にこの会場で執り行う。

4 その他

議長から、その他として次の 6 項目について報告したい旨発言があり、順次、事務局から説明があった。

(1) 各学部同窓会と山形大学校友会との情報交換会の開催について

本件について事務局から概ね次のような説明があった。

- ① 各学部同窓会と校友会との連携を推進するため、昨年 7 月 31 日(木)に初めて開催されたものである。(資料 7 参照)
- ② 各学部同窓会の会長と、校友会からは小山会長と大場担当副学長が出席して情報交換が行われた。

(2) 校友会メールマガジン「みどり樹通信」の発行について

本件について事務局から概ね次のような説明があった。

- ① 校友会メールマガジンは昨年 7 月から月 1 回のペースで発行し、本年 1 月 15 日発行分で第 7 号となっている。(資料 8 参照)
- ② 校友会会員や同窓会支部総会出席者等で希望される卒業生等に配信し、現在約 350 名になっている。

説明の後、次のような質疑応答があった。

- メールマガジンの配信者 350 名は、むしろ少ないのではないか。配信先はどうなっているのか。(齋藤理事)
- ◎ 配信者 350 名の内訳は、ほとんどが卒業生である。(事務局)
- 卒業生とともに在學生への配信をもっと考えるべきではないか。(齋藤理事)
- ◎ メールマガジンの配信は本人の了解を前提としており、在學生への配信は難しい点もあるが引き続き検討したい。(事務局)

(3) 「卒業生の人財バンク登録事業」の活用について

本件について事務局から概ね次のような説明があった。

- ① 各同窓会及び各学部へ照会し、推薦のあった 5 人の卒業生を「人財バンク」に登録し、校友会ホームページ上に掲載した。
- ② 「人財バンク登録事業」を活用した学生支援事業の募集を開始した。
(資料 9 参照)
- ③ 登録された卒業生のうち、外部からの講師には旅費と謝金(1 万円限度)を措置する。

(4) 「山形大学卒業生等首都圏ネットワーク」について

本件について事務局から概ね次のような説明があった。

- ① 昨年 12 月 20 日（土）山形大学東京サテライトにおいて総会を開催した。
- ② 「山形大学同窓会・校友会首都圏ネットワーク」から「山形大学卒業生等首都圏ネットワーク」に名称変更された。（資料 10 参照）
- ③ 岩城会長及び 3 人の副会長、幹事は再任され、新たに顧問を設け、結城章夫氏（前山形大学長）と鈴木英一氏（前校友会事務局長）が委嘱された。
- ④ 今回は若手の卒業生 6 人が初めて参加し、若手と年輩の卒業生とが親しく懇談する機会が持てた。

(5) 校友会設立 10 周年記念事業に向けた「企画検討ワーキング」の設置について

本件について事務局から概ね次のような説明があった。

- ① 「企画検討ワーキング」の委員には、資料 11 のとおり大場座長（校友会担当副学長）はじめ 6 名を委嘱した。
- ② 第 1 回目の「企画検討ワーキング」は、年度内開催を予定している。

(6) 平成 26 年度山形大学 OB & OG セミナーの開催について

本件について事務局から概ね次のような説明があった。

- ① 10 回目となる今回のセミナーでは、地域教育文化学部と基盤教育院の 2 人の教員に講演をお願いしている。（資料 12 参照）
- ② 若手卒業生にもできるだけ多く参加してもらうため、平成の卒業生は、交流会費を一般参加者の半額とした。

(7) その他

さらに、次の 2 点について説明と要望意見があった。

イ 事務局から、「山形大学校友会の平成 26 年度における活動状況」について、参考資料 5 のとおり整理したのでご覧いただきたい旨述べられた。

ロ 校友会のさらなる発展には新しい会員の確保が不可欠であり、その点では各同窓会への働きかけに加えて、大学教職員の入会も積極的に推進すべきではないか。（岩城理事）

議事終了後、議長から、現在の校友会理事及び監事の任期は本年 3 月 31 日までとなっており、校友会の運営等に尽力いただいたことに対し謝意が述べられた。

配付資料一覧

- 席 次
- 山形大学校友会理事・監事一覧（H27.2.13 現在）
- 次 第

[資料一覧]

- 資料 1 平成 26 年度実施事業の進捗状況一覧
- 資料 2 平成 26 年度収支決算見込み
- 資料 3 平成 27 年度予算概要（イメージ）
- 資料 4-1 平成 27 年度校友会継続事業について（案）
- 資料 4-2 平成 26 年度校友会継続事業（H26.2.14 理事会承認）
- 資料 5 平成 27 年度校友会事業計画書の申請様式（案）
- 資料 6-1 平成 26 年度山形大学校友会大学院学生表彰者一覧
- 資料 6-2 山形大学大学院校友会大学院学生表彰に関する申し合わせ
- 資料 6-3 表彰状（「山形大学校友会会長賞」）の様式
- 資料 7 各学部同窓会と山形大学校友会との情報交換会次第ほか
- 資料 8 校友会メールマガジン「みどり樹通信」（第 7 号）
- 資料 9 卒業生の「人財バンク登録事業」を活用した学生支援事業の実施について（通知）
- 資料 10 山形大学卒業生等首都圏ネットワーク規約
- 資料 11 校友会設立 10 周年記念事業実施に伴う「企画検討ワーキング」委員の委嘱について（通知）
- 資料 12 平成 26 年度山形大学 OB & OG セミナーの開催案内

[参考資料]

- 1 山形大学校友会会則
- 2 山形大学校友会専門委員会規程
- 3 校友会理事会第 16 回（前回）議事録（H26.6.19）
- 4 校友会専門委員会第 16 回（前回）議事録（H27.1.30）
- 5 山形大学校友会の平成 26 年度における活動状況